

# 片山タイムズ

第八号  
令和五年  
一月吉日

## 謹賀新年

みなさまあけましておめでとうございます。  
本年も宜しく願っています。

今年も千支でいうと「癸（みずのと）卯（うさぎ）」です。この年は「寒気が緩み、萌芽を促す」という年だそうです。皆様もより一層それぞれの茶道の萌芽を促して、お稽古に励んでいただければ幸いです。

ところで、干支という十二支と勘違いして12個と思いますが、干支は60個あります。干支は皆さんがよく知る「十二支」と「十干」（じっかん）の組み合わせです。還暦というのはこの干支が一回し戻ることを指します

## 裏千家を知ろう

今年より、裏千家をより知ってもらうため歴史のお家元について簡単に解説していきます。お稽古で、歴代家元の形を模した茶杓を使いますが、合わせて記事により歴代お家元について知っていただくと幸いです。1月には二代小庵宗淳と三代千宗旦をご紹介します。  
またあわせて利休百首も紹介していきます。



裏千家 今日庵 門

## 激動千家をつないだ小庵宗淳

小庵宗淳は、1546年の生まれとなつていま

千利休とは直接の血のつながりはなく、実父も諸説あつて確定していません。母の千宗恩が千利休と再婚することにより千家に入ります。その後、利休の娘である亀と結婚し宗旦をはじめ3人の子に恵まれます。

1591年に千利休の自刃後、利休七哲の一人である蒲生氏郷を頼ります。その3年後、家康や氏郷の嘆願により、赦免され不審庵を内興します。その後子の宗旦を還俗させ家督を譲ります。1614年に69歳で亡くなります。

小庵宗淳には義理の兄（利休の実子）の千道安がいます。道安が「動」の茶とする小庵宗淳は「静」であつたと伝わっています。

また利休と合作の茶道具もあり「矢瀬」という銘の茶杓が有名です。

小庵が矢瀬（現在の八瀬）に当時へ行った利休を見舞いに行った際に宿にあつた垂木で作つたものを利休が手におししたと伝わっています。

## 中興の祖三千家の祖咄々齋元白宗旦

宗旦は1578年に小庵宗淳の子として生まれます。過去には道安の子ではないかとする説がありましたが現在は否定されています。

10歳で大徳寺へ修行に出ます。これは利休の考へであつた様な説がありますが、小庵が、道安に気を使い自分の子には茶の湯を継がせないという意思を示したのではないかともいわれています。

祖父の利休が自害に追い込まれ、父も蒲生のもとへ身を引かなければならぬ時代が大徳寺で過ごします。父小庵の赦免後、千家再興のため還俗（僧侶から一般人に戻る）し直ぐに家督を継ぎます。

生涯一度も仕官（大名等に仕える）しなかつたこと。仕官できなかつたわけではなく、徳川家康からも依頼がきていますが、すべて断つています。これは、祖父と父が権力により激動の人生を歩んだのを仏門の世界からみてきたことが影響しているという説もあります。  
(下段につづきます)

(続き)

このように仕官しなかつたことや、非常に清貧であつたこと、利休以上に詫びを極めた茶風から「乞食宗旦」といわれました。  
また非常に筆まめで、子の江谷宗左への手紙は240通あまり残っております。

そして、家督を江谷宗左に譲り、子の宗室とも今日庵を拠点としました。1658年に81歳で亡くなりました。

宗旦は、三千家の祖であり、中興の祖としても名高く逸話も数多く残っています。相国寺に伝わる宗旦狐や、井伊直弼が書いた閑夜茶話にも記述がありますので、よかつたら調べてみてください。



元白宗旦  
(裏千家ホームページより)

## 利休百首

利休百首(りきゅうひゃくしゆ)は、利休道歌(りきゅうどうか)とも言い、千利休の教えを和歌にしたものです。

現在、流布されている多くが十一代玄々齋が【法護普須磨(反故襖)ほごふすま】と称して、点前の作法の種別、道具の扱いなど細かく書き連ねた終わりに【利休居士】と百項まとめ、更に後世、利休の作と推測の二首が加わつたものです。

## その道に入らんとする心こそ

## 我が身ながらの師匠なりけれ

淡交会の青年部や支部などで一番唱和されるものかと思えます。何事でもその道に入りそれを学ぶにはまず志を立てねばならない。自発的に習ってみようと言う気持ちがあれば、その人自身の心の中にもう既に立派な師匠ができていくという意味で解釈されます。

## 今月のお道具

### 曙棗

玄々齋のお好みです。朱塗りの利休好み香次棗の形で、甲に黒絵で一羽の立鶴が、胴に松と亀が蓬莱文様とともに描かれたおめでたい意匠の棗です。

長いこと当社中にいる方はお正月に毎年使いますので、おなじみですね。



曙棗

## 今年の当社中の行事

今年はお社中が担当のお席が10月・12月にあります。コロナの状況によってはどのようなことになるかまだ流動的ですが、開催を前提にお稽古に励んでいただければ幸いです。

まず、1月の3連休に茶事形式による社中の初茶会を行います。今年立礼で行います。また、通常のお稽古とは別に随時、七事式のお子稽古を通常のお稽古と別で行います。5人の参加者を募り集まつたら開催いたします。

10月には焼津市の茶道連盟による焼津市文化祭のお茶席を担当いたします。水屋・お運び・お点前等、ご希望がありましたらお伝えください。

12月10日に吐月峰にて茶道裏千家淡交会静岡支部のお席を持ちます。同じく、水屋・お運び・お点前等ご希望がありましたらお伝えください。



焼津市文化祭